

事業実施報告書

1 実施結果

取組内容 (該当する取組内容にチェックしてください)	【誰もが働きやすい職場づくりコース】 ☐ ①仕事と生活の両立支援のための就業規則等社内制度の整備 ☐ ②従業員が子どもと同伴して出勤できる環境の実現に向けた施設の整備 ☒ ③労働生産性の向上により長時間労働の削減や有給休暇の取得の促進といった多様な働き方の推進に繋がる機器、ソフトウェアの導入 ☐ ④多様な働き方の理解促進に向けた社内研修の実施、各種セミナーへの参加 ☐ ⑤就業規則、業務マニュアル、社内掲示物等の多言語化に係る翻訳 ☐ ⑥日本語学習のための学習サービスの利用 【病児保育コース】 ☐ ①従業員の子どもの発熱等により看護を要する状態となった際にベビーシッターを従業員の自宅等に派遣する事業 ☐ ②従業員が発熱等により看護を要する状態の子どもの同伴して出勤できる環境の実現に向けた施設等の整備 ☐ ③子の看護休暇の取得の促進のために行う社内制度の整備 【育児休業取得促進コース】 ・①育児休業の取得促進のための就業規則・賃金規定・人事評価制度等の作成・改正 ☐ ②育児休業の取得促進に向けた企業風土づくり 【共通】 ☐ その他知事が必要と認める事業 ☐ 上記取組内容の発信
補助金精算額	600,000 円 (1,000円未満は切捨て) ※消費税抜き
補助対象経費 ※支出項目ごとに記載し領収書(写)(明細がわかるもの)	補助対象経費 1,200,000 円 (内訳) ・受注・販売データ管理ソフト(RPA) 1,000,000円 ・求人広告経費 200,000円
実施期間	令和7年6月30日 ~ 令和8年2月28日

請求明細を記載して下さい。値引き等が発生して金額が変わった場合はその旨も記載してください。

事業計画書の
＜成果目標＞
記載の内容を
記載してください。

2 効果測定結果、成果目標の達成状況

効果測定期間	令和8年1月1日 ~ 令和8年1月31日
成果目標	①効果測定期間における対象者3名の所定外労働時間を24時間に削減 ②求人応募〇名以上
達成状況	達成 【達成状況概要・未達成の場合は理由を含めて記載】 ①所定外労働時間数12時間にまで大幅削減(前年度比:114時間減)し、当初目標を上回る実績を達成した。

実際に効果を測定した期間を記載して下さい。

達成状況を具体的に検証し、前年同期比等でわかりやすく記載して下さい。

	②本事業にかかる取組を掲載した求人広告掲載を実施したところ、当初の目標を上回る10名から応募があり、そのうち2名を採用することができた。
多様な働き方の推進に取り組んだ結果	【従業員の声や課題、今後の展望など記載】 ・受注・販売データ管理ソフトを導入したことにより、これまで複数の業務を同時並行で実施することにもなった負担が減少し、電話対応に集中することができるようになったことで、電話対応自体の能率も向上した。 ・受注・販売データ管理ソフトを導入したことで情報共有の漏れがなくなり、社員間のコミュニケーションが向上した。

※成果目標及び達成状況について取組内容について、数値、従業員アンケート等などを実施するなどに、前月の前年同月又は前月の状況についても記載ください。）

※誰もが働きやすい職場づくりコース①において時間単位の年次有給休暇制度を新たに導入し、かつ、かつの10%上昇（前年同時期対比）を成果目標として実施した場合は、様式第1号の別紙5-2「年次有給休暇制度の導入」を添付してください。

※誰もが働きやすい職場づくりコース③において様式第1号の別紙5-1「労働生産性の向上により達成する目標及び目標設定の考え方」を別途作成してください。

従業員の声や課題、事業主の感想、今後の展望等を自由に記載ください。